令和2年3月27日発行　第27号
発行元：東京都医療勤務環境改善支援センター（東京都福祉保健局医療政策部医療人材課）

医療機関管理職・事務部門職員向け

# テーマ：勤務環境改善とＩＣＴの活用

勤務環境改善、とりわけ医師の働き方改革は、ＩＣＴの活用なくして実現できないと言われていますが、具体的にどんな方法があるのでしょうか？

まずは、昨年度の労働関連法改正で、以下のことが医療機関の管理者に義務づけられたことを踏まえておく必要があります。

- 労働者の始業時間・終業時間を確認・記録し、業務時間を把握すること
- その記録は客観的な方法で記録されていること
- 時間外労働時間の上限規制に抵触しないこと

そして、勤務環境改善に向けて、ＩＣＴを活用した新たな技術が開発されてきています。
医療現場においても、積極的に取り入れることで、医師の働き方改革に向けた勤務環境改善を、より効率的に進めようとする動きが生まれています。

ここで、ＩＣＴを活用した具体的な事例を、いくつか紹介しましょう。

(1)　勤務時間の客観的な把握について
- ➢ タイムカードによる管理がメジャーですが、近年はＩＣカード（カードゲートシステム等）による管理が導入されてきています。
- ➢ 出入口が多数ある施設では、顔認証システムを検討しているところもあるようです。

(2)　医師の診療業務の負担軽減について
- ➢ 初診患者には、受付時等に症状などをタブレットに入力してもらうことで、診療時間の大幅な削減を実現している病院があります。
- ➢ また、電子カルテでは音声入力システムの精度も高まっています。

(3)　遠隔診療について
- ➢ オンラインを駆使した遠隔診療も、いま広く普及してきています。

◆◆　ＩＣＴ導入のポイント　◆◆

- 導入にあたっては、医師をはじめ関係部署・関係職員と、目的を踏まえた上でよく相談して進めることが、その後の効果的な運用には不可欠です。
- また、導入後にも状況について情報共有し、効果の数値的な検証を繰り返すことが重要です。

無料
お困りのことやご不明な点などがございましたらお気軽にご相談ください！
社会保険労務士と医業経営コンサルタントがアドバイスいたします（秘密厳守）。

**東京都医療勤務環境改善支援センター随時相談窓口**
☎　03－6272－9345　（平日9時30分から17時30分まで）
詳細はこちらから検索！　⇒　東京都　勤務環境　検索

勤務環境かいぜんサポートナビ